

「開かれた扉（ミライ）～JIMTOF2022 に見る最新工作機械技術～」

開催期間：2023年 3月20日(月)－4月10日(月)

申込締切：2023年 4月 3日(月)

「第31回日本国際工作機械見本市」(JIMTOF2022)が11月8日～13日に東京ビッグサイトで開催されました。4年ぶりのリアル開催であり、4年分の技術的蓄積が一堂に披露されました。本講習会では、工作機械業界を代表する研究者や企業の方々を講師として招き、JIMTOF2022で披露された工作機械技術の最新動向を解説いただきます。モノのインターネット(IoT)や人工知能(AI)、デジタルトランスフォーメーション(DX)などの「デジタル技術」、労働力不足の解消や生産効率化のために高度化する「自動化」などのキーワードに加え、今回初めて設置されたアディティブマニュファクチャリング(付加製造,AM)ゾーンなどでも注目の「AM技術」など、最新技術を読み解いていきます。本講習会は工作機械技術の最先端についての知見を高めていただける情報が満載です。多くの方のご参加をお待ちしております。

開催期間：2023年3月20日(月)10時00分～2023年4月10日(月)17時00分

視聴方法：本講習会はBoxというクラウドサービスを用いてオンライン開催いたします。

Box内の指定フォルダへアクセスすることで、オンデマンド形式での閲覧が可能になります。

講習会テキスト：ヤマト運輸クロネコDM便を利用して講習会テキストを発送いたします。

最長、発送日を含む3日での到着予定です。お早めのお申込みをおすすめいたします。

*視聴用のURL情報は、参加申込時に登録いただいたメールアドレスに追ってご連絡いたします。

【注意事項】

- 本講習会での講演に対する質問は、アンケートにて承ります。ただし、本講習会のテーマと関係がない質問はお控え下さい。
- 視聴用URLは講習会に登録された参加者のみ利用可能とし、再配布を禁止いたします。また受講者は、動画の録音や画像のキャプチャーおよびそれらのSNSなどへの投稿を禁止いたします。もし発見された場合、事務局は削除を要求できることとします。
- 動画視聴等に関する技術サポートは提供いたしません。また、視聴中に視聴期間を過ぎると再生できませんのでご注意ください。
- Box利用の際に、無料のアカウント登録が必要となります。セキュリティ設定等によりBoxにアクセスできない場合がございますので、参加申込前に下記URLのテスト動画により動作確認をお願いいたします。

*テスト動画URL：<https://jspe-jp.app.box.com/s/i3fdviiph2cg74whfid82mpyyzas0dp>

企画担当者：[笹川哲平](#) (日本工作機械工業会)、[大平充哉](#) (アマダマシナリー)、[芳賀 崇](#) (ニュースダイジェスト社)

次 第：(予定)

| 題 目 | 内 容 | 講 師 |
|--|---|---|
| 挨拶 | | |
| JIMTOF2022 総論 ～JIMTOF 2022 に見る工作機械技術の動向～ | 4年ぶりのリアル開催となったJIMTOF2022では、未来を拓く各社の最先端技術が披露された。本講演ではJIMTOF2022で講師が注目した最先端技術をデジタルツイン、脱炭素&省エネ、EV対応、自動化対応(協働ロボット)、付加製造(AM)などに分類して紹介する。 | 神戸大学大学院 工学系研究科 機械工学専攻 教授 白瀬 敬一 |
| 工作機械技術のデジタルイノベーション | JIMTOF2022にて工作機械分野は支配的デザインが確立され、産業が成熟した状態にあることを再確認した。また、アーキテクチャなど新たなイノベーションの切り口が必要であることを述べる。 | 東京大学大学院 工学系研究科 教授 杉田 直彦 |
| デジタル技術の応用と自動化 | 工程集約・自動化・DX/GXをキーワードに、DMG森精機が提案する最新の複合加工機・工具搬送やAMRを用いた最新の自動化ソリューション、デジタルツインを用いたDX/GX技術を紹介する。 | DMG森精機株式会社 制御盤・操作盤設計部 部長 服部 綾太郎 |
| デジタル技術を活用した製造プロセスの変革 | 製造業が直面する作業不足や技能伝承の課題に対するヤマザキマザックの取り組みとして、加工現場のDXを実現するソフトウェアとデジタルデータを活用した見積り機能や段取り指示機能を紹介する。 | ヤマザキマザック株式会社 商品開発本部 マサトロールDX部 次長 斤山 拓朗 |
| JIMTOF2022におけるAM技術の動向 | JIMTOF2022ではAdditive Manufacturingエリアが設けられ、多数の最新技術の展示があった。本講演ではそれらの技術の特徴や適用事例などについて解説する。 | 東京農工大学 工学府 機械システム工学専攻 教授 笹原 弘之 |
| ワイヤ・レーザ金属3DプリンタAZ600の紹介 | 三菱電機の指向性エネルギー堆積方式(DED方式)金属3Dプリンタは熱源にレーザ、材料にワイヤ材を用いており、真空レスで市販の溶接用ワイヤで造形可能という特徴を有する。本講演では金属3DプリンタAZ600本機のプロセス制御機能、造形事例を紹介する。 | 三菱電機株式会社 先端技術総合研究所 駆動制御システム技術部 放電システムグループ グループマネージャー 湯澤 隆 |
| 切削加工とAM技術を融合した超複合加工機における最新事例と最新の工作機械技術 | 切削加工と積層造形を融合した超複合加工機による最新の加工事例について、JIMTOF2022での展示サンプルを中心に紹介する。また併せて、JIMTOF2022で展示した最新の工作機械の脱炭素技術についても紹介する。 | オークマ株式会社 研究開発部 部長 安藤 知治 |

主催：公益社団法人 精密工学会 企画：事業部企画第2グループ

協賛(予定)：SME日本支部/応用物理学会/型技術協会/計測自動制御学会/研削砥石工業会/研磨布紙協会/自動車技術会/全日本プラスチック製品工業連合会/素形材センター/ダイヤモンド工業協会/電気加工学会/砥粒加工学会/日本オプトメカトロニクス協会/日本MID協会/日本金型工業会/日本機械学会/日本機械工具工業会/日本木型工業会/日本金属学会/日本金属プレス工業協会/日本光学測定機工業会/日本工作機械工業会/日本合成樹脂技術協会/日本材料学会/日本精密機械工業会/日本セラミックス協会/日本塑性加工学会/日本鍛造協会/プラスチック成形加工学会

*協賛団体にご所属の方は会員価格にてご参加いただけます。

お申込み→
フォーム



定 員：制限なし

参加費：会員(賛助会員および協賛団体会員を含む)22,000円、学生会員2,000円、非会員36,000円(同時入会申込で参加費割引特典あり、詳細は事務局・講習会係までお問い合わせ下さい)、学生非会員7,000円(会員・学生会員・非会員・学生非会員とも講習会テキスト代含む)*参加費・講習会テキスト代とも消費税を含みます。*賛助会員参加無料券をお持ちの方は是非ご利用下さい。

資 料：講習会テキストのみ、または聴講者で2冊以上ご希望の場合、1冊5,000円

申込方法：ホームページ(https://www2.jspe.or.jp/form/koshukai/koshukai_form.html)からお申込み下さい。

申込先：公益社団法人 精密工学会(〒102-0073 東京都千代田区九段北1-5-9 九段誠和ビル2F、電話03-5226-5191、FAX03-5226-5192)